

五條高生

700人、金剛山挑戦

伝統行事、初夏に復活

五條市岡町の県立五條高は10日、全校で郷土の霊峰金剛山(標高1707メートル)を登山した。



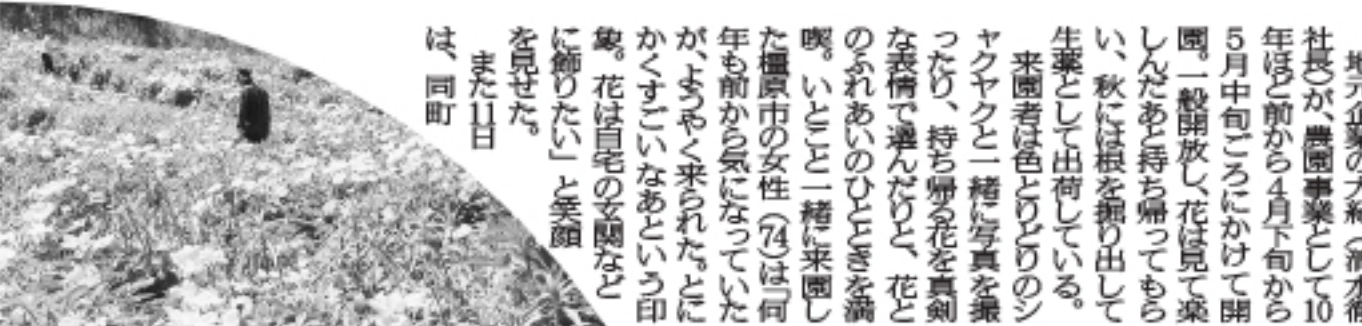
同校は耐震金剛登山が伝統行事だったが、新型コロナウイルスの影響で2020年以降は中断。2022年早稲刈りが終わった後、再開された。

同校は耐震金剛登山が伝統行事だったが、新型コロナウイルスの影響で2020年以降は中断。2022年早稲刈りが終わった後、再開された。

朽化した金剛山ロープウェイの廃止を決定したため、登山道が人ごみの輪送手段を失った同校は生徒らが安全に登山する方法を模索することになった。

伝統行事は新緑のこの季節に1〜3年までおそって登山する形で復活した。同市小和町から登山道に入り、伏見峠(標高983.3メートル)を経て山頂に近い広場まで折り返し、前日までに教職員が設置した道しるべをたどって山頂を目指す。

満開シャクヤク5万本



目で楽しみ、お土産に

下市町平原の大紀シャクヤクガーデンで、約5万本のシャクヤクが見頃を迎えている。ガーデンは花を愛する各地からの来園者でにぎわう。

地元企業の大紀(清水徹社長)が、農園事業として10年ほど前から4月下旬から5月中旬ごろにかけて開園。一般開放し、花は見て楽しむだけ。持ち帰る花を真剣な表情で選んだり、花の写真を撮ったりと、花の魅力を堪能している。

同ガーデンは5月中旬ごろまで、入園料は500円で、1人20本までシャクヤクを持ち帰れる。午前9時から午後5時開園。開園状況など問い合わせは同ガーデン、電話0744(58)0015。

公園を無償で整備

福原市は10日、無償で公園を整備したフクダ不動産(福田文彦社長)に同市八木町の市役所で感謝状を贈った。

同社の地産貢献の一環。1977(昭和52)年に設置された飛鳥川児童公園(同市八木町997平方メートル)の老朽化で使われなくなっていた。費用は同社による約400万円。

檀原市が感謝状贈呈

市南八木町997平方メートルの老朽化で使われなくなっていた。費用は同社による約400万円。

力作ずらり高田洋画会展

高田洋画会(中谷剛司代表理事、会員29人)の「第82回高田洋画会展」(奈良新聞社主催)がきょう12日、大和高田市本郷町のさざんかホールで開催される。

会場には水彩画を中心に、旅先や日常の風景、作者の思いが込められた情景など、会員作品34点と一般公募作品37点の計71点が展示。サインもさまざまで10号(約35×約45)から50号(約110×約90)まで。

高田洋画会(中谷剛司代表理事、会員29人)の「第82回高田洋画会展」(奈良新聞社主催)がきょう12日、大和高田市本郷町のさざんかホールで開催される。

高田洋画会(中谷剛司代表理事、会員29人)の「第82回高田洋画会展」(奈良新聞社主催)がきょう12日、大和高田市本郷町のさざんかホールで開催される。

ようこそ最初のお友達

今月1日に開園した「せいかグループ」の当麻せいか子ども園(葛城市当麻)が、園児と保護者らと共に入園式を祝った。

園児と保護者らと共に入園式を祝った。葛城市当麻の当麻せいか子ども園。

園児と保護者らと共に入園式を祝った。葛城市当麻の当麻せいか子ども園。

園児と保護者らと共に入園式を祝った。葛城市当麻の当麻せいか子ども園。

Table with market information including stock prices and exchange rates.

Book advertisements for '明日香の万葉を歩く' and '飛鳥・藤原 写真でつづる宮都の今昔'.